

## 1. 3月16日(日)里山林再生植樹会inくろせ

**\*この事業は森づくり県民税一人当たり500円を活用した事業です\***

ところ 国立賀茂医療センターの山側 黒瀬町乃美尾369

新幹線のトンネル近くで通過する都度、騒音の大きい所、山火事跡

開会式 9:30 指導者・各班の班長紹介

植樹の仕方 9:45 黒瀬森林組合 仏崎信二「苗木の植え方」全員に配布

安全祈願 「どんぐりコロコロ」発声 宮岡担当

植樹作業 10:00~10:50

講演 11:00~11:25

「里山と川と水の関係」 広島国際学院大学 佐々木 健教授

森林の役割 落葉の働き 緑のダム 軟水の酒(西条)は日持ちが良い  
硬水の酒(灘)は日持ちが劣る

参加者 10名

他の参加者 バブコック日立(66名) 黒瀬高校(31名) 東広島市緑の少年団(70名)

西条酒造協会(12名) 呉市役所岡田課長外3名 総計290余名

内 容 シバクリ ヤマザクラ 1500本の植樹

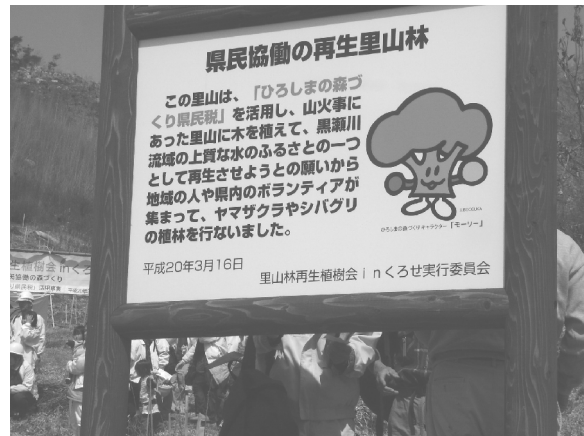
植樹予定地に竹串をさし、穴を掘り事前に埋め戻してあった

竹串を抜き 穴を掘り 苗木を植える 穴を埋め 足で踏み固める

科学肥料を山側へ ウッドチップを敷く 竹串をさして完了

植林記念看板披露と記念写真撮影

好天に恵まれて気持ちよい作業ができた。植樹の事前準備作業がよく出来ていた  
ので予想以上に早く完了した。炊き出し(混ぜご飯と豚汁)は、(財)東光会の手  
際がよく、味付けもよく、食事のための代用の腰掛にも感心。黒瀬高校の一人にN氏  
が「参加は強制?」と尋ねると「自分から参加」と答えた



## 2. 次回例会のご案内

と き 4月6日 第一日曜日 午前9時集合~正午(終了・解散)

集合場所 灰が峰登山道路 第三番目の展望台 駐車可

整備場所 銀名水から平原町方面の登山路

持ち物 ヘルメット 腕章 名札 帽子 手袋 飲み物

## 3. 4月20日(日) 第6回 灰が峰・休山縦走大会

ところ 呉二河陸上競技場 午前7時 集合 ゴール 見晴町「桜の里公園」



当会植樹所は一番上（旗のところ）



# 山火事跡地に緑を

黒瀬の  
住民ら 森林税活用し植樹

東広島市黒瀬町乃美尾の岩幕山で昨年三月に発生した山火事の跡地に緑を取り戻そうと、市内の自然保護団体や町森林組合などが十六日、植樹会を開いた。ひろしまの森

づくり県民税(森林税)の約三百万円を活用し、約〇・五畝の斜面にヤマザクラとシバグリの苗木計千六百本を植えた。

地域住民や企業、ボランティア団体などから約

三百人が参加。スコップで掘った穴に苗木を植え、肥料を与えた。地元黒瀬高の生徒約三十人も加わり、二年の平岡卓気さん(17)は「地球温暖化の抑制に役立てば」と話していた。

植樹を終えたばかりの斜面では、広島国際学院大の佐々木健教授(環境化学)が講演。「里山の再生は、西条のおいしい酒をつくる水質の向上にもつながる」などと森林保全の重要性を訴えた。

(下久保聖司)



里山再生を願い、山火事の跡に植樹する参加者たち